

開催日 2019年3月2日 (土)

学校公開の場を利用して1時間目～4時間目までの時間割で、「義肢装具ってなに？パラリンピックってなに？(講義)」と「義肢ユーザーとの交流」を合わせたプログラムと、「義肢装具体験プログラム」として指型採型・筋電義手体験・骨格義足組立体験・義肢装具触知体験(展示)の4コーナーの作業体験と、装具装着体験・高齢者疑似体験・模擬義足体験の3コーナーの装着体験を、小学5・6年生の児童とその保護者、教職員を対象に実施いたしました。

4クラスで総勢88名の児童に、(公社)日本義肢装具士協会障がい者/パラアスリート/P0啓もうWGと東日本支部から22名が運営スタッフとして対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

講義～義肢装具ってなに？パラリンピックってなに？～

義肢装具の概要と義肢装具士の業務、およびパラリンピックとパラアスリートについて理解を深めてもらう事を目的とした講義を行いました。

今回は初めて筋電義手ユーザーにご参加いただいたことから、筋電義手を操作する仕組みについて講義内容に盛り込みました。



義足・義手ユーザーとの交流

実際の義肢ユーザーが義肢を使用する様子を目近で見ってもらう事で、「障がい」と「障害に対する義肢装具の役割や効果」について理解を深めることを目的とするものですが、今回は筋電義手ユーザーと大腿義足ユーザーに協力して頂きました。

大腿義足ユーザーの歩容が左右で差があまりみられないことや、筋電義手を用いた複雑な日常生活動作を見て児童から感嘆の声があがりました。

質疑応答では、日常生活におけるメンテナンス方法や義肢で不自由な事について等の質問が挙がりました。

自分や家族の事のように置き換えて、感心する質問も多く、また、今後の義肢装具の進歩を期待する声も聞かれるほどでした。



義肢装具体験

指型採型・筋電義手体験・骨格義足組立体験・義肢装具触知体験(展示)・装具装着体験・高齢者疑似体験・模擬義足体験を実施いたしました。児童には興味のあるコーナーを、45分の時間内に訪れて体験してもらう形式を取りました。

装着体験では、「障がい者・高齢者の動作」「切断者の義足歩行」を体験してもらう事や、身体的負担を体感することで、その理解とボランティアマインドの育成を目的としました。

高齢者の疑似体験用装具を装着して床から立ち上がったたり、模擬義足を装着して生徒同士で支えあって歩いたり、多くの生徒達は初めての体験に驚きと身体的負担の多さを感じていました。



手指採型



筋電義手体験

イベントを終えて. . .

イベント開催後に実施したアンケート結果では、全体の94%が体験イベントへの参加に満足しているとの回答を得ました。また、障害に対する理解は91%が、義肢装具についての理解は84%が深まったとの事でした。

一番興味を引かれた内容についての回答はどれも同比率であり、児童に興味を抱いてもらえるプログラムを多く提供できている事を示すものと思われます。

今回で2回目となる「オリ・パラ教育推進支援プログラム」を小学校で開催しましたが、感受性豊かな年頃に「障がい者・パラアスリート」、その方々を支援する義肢装具士の業務を伝える事は、「障がい者理解」や「ボランティアマインドの育成」に通じる非常に大切な教育支援事業であると考えます。

当協会WGでは、これからも積極的にオリンピック・パラリンピック教育推進プログラムに取り組んで参ります。

アンケート(生徒の記述感想) ※一部抜粋

- ・ 義肢の良さを、いっぱい知れて楽しめた。
- ・ 私は義肢装具士さんが、丁寧に答えてくれてうれしかった。見たり、体験したり触ったりして、もっと知りたいなと思った。
- ・ たくさんの体験コーナーがあったので、その場所によって色々なことを学べてとても楽しかった。
- ・ 義足、義手のことが知れて良かった。興味が深まった。
- ・ 思っていたよりもおもしろかった。質問などができて、貴重な体験をした。
- ・ 義手の見た目が、すごいリアルだった。
- ・ 筋電義手が、結構上手にできたから楽しかった。
- ・ スタッフさんが、話しかけやすかった。
- ・ 色々な義足と義手があって、その中でも筋電義手が凄かった。
- ・ 全然面白くなさそうと思ったが、予想をこえた。説明も分かりやすく、体験も理解が深まった。
- ・ 筋電義手の体験で、調節が難しかったけど楽しかった。
- ・ 指が何回も失敗したけど、まあまあ面白かった。
- ・ 筋電義手は、すごく驚いた。自分の手を動かすと物をつかめたりするのでびっくりした。でも、潰れてしまう物とかは力の加減が難しかった。
- ・ 教えている人の、教え方が分かりやすかった。
- ・ 私のお祖母ちゃんが最近とても転倒するので、疑問に思っていた。だけど、高齢者体験をしてどうして老人が転びやすいのか知ることができた。
- ・ 手足のない人への、イメージが変わった。
- ・ パラリンピックの人が、オリンピックの人と対等にやってて凄いと思った。
- ・ 障がい者が、両足のある普通の人より出来ていてびっくりした。私はあきらめなければ出来ることを、信じて生きていこうと思う。これからは障がいなどがある人、高齢者への接し方に気を付けたいと思う。
- ・ 障がい者の方々はとてもたくさんの努力をして、義手や義足を使えるようになったということがよく分かった。
- ・ 私はこの授業をして、〇〇さん(同級生)の様な手がなくなってしまった人が、近くにいるのをあまり不思議に思わなかったけど、今回で〇〇さんがどれだけ辛い思いをしているのか分かった。
- ・ 私は義肢装具体験イベントをして、義手、義足を使っている人、高齢者の人達はとても生活をするのが困難だということが分かった。これからは道で困っている人がいたら、助けてあげたいなと思った。
- ・ 今回の体験で障がい者、高齢者に思いやりのある行動をしようと思った。
- ・ 高齢者疑似体験は思っていたより大変で、高齢者の気持ちがよく分かった。この経験を生かして、高齢者や障がいのある人がいたら助けてあげたいと思う。
- ・ 初めての体験で義肢装具に興味がなかったが、この体験をして義肢装具に興味がわいた。
- ・ この体験で、障がい者や高齢者は大変なんだなと思った。私が特に辛そうだなと思ったのは首。下もむけないし、少し苦しかったから。